

# 英語科学習指導案

学 級 : 3年2組 29人  
 場 所 : 会 議 室  
 指導者 : 教諭 川俣 治香  
 教諭 福永 光洋

## 1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit 5 “A Legacy for Peace”

### 2 単元の目標

本単元では、ガンディーの生涯と功績について学び、さらに表現等について学んだ後で、その表現を参考にして、自分のあこがれの人物を紹介する活動を行う。そのため、「聞くこと」など他の領域の言語活動も行うが、以下のように本単元においては「読むこと」「話すこと〔発表〕」の2つの領域の目標を定め、評価することとした。

#### (1) 読むこと

平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えている。

#### (2) 話すこと〔発表〕

A L Tの先生にあこがれの人物を知ってもらうために、その人物についての詳しい情報やあこがれる理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてその人物を紹介することができる。

### 3 評価規準

#### (1) 読むこと

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 関係代名詞（主格・目的格）などの名詞を修飾する語句の意味や働きを理解している。 <技能> 関係代名詞（主格・目的格）などの名詞を修飾する語句の意味や働きの理解を基に、どのような人か、ガンディーの生涯や功績について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えている。	平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えようとしている。

#### (2) 話すこと「発表」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 関係代名詞（主格・目的格）などの名詞を修飾する語句の意味や働きを理解している。 <技能> 自分の憧れの人物について、事実や自分の考えなどを整理し、関係代名詞（主格・目的格）などを用いた簡単な文や語句を用いて、相手に分かりやすく発表する技能を身に付けている。	A L Tの先生にあこがれの人物を知ってもらうために、その人物についての情報やあこがれる理由などを整理し、その人物を紹介している。	A L Tの先生にあこがれの人物を知ってもらうために、その人物についての情報やあこがれる理由などを整理し、その人物を紹介しようとしている。

4 指導と評価の計画

次	時間	学 習 活 動 ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	必 要 性	自 律 性	関 係 性	有 用 性	評価規準・ 評価方法等
1	1	<p>■ 単元の目標を理解し、見直しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ALTの先生に、あこがれの人物を知ってもらうために、詳しい情報を加えたり、理由を述べたりしながら、自分のあこがれの人物を紹介しよう！                 </div> <p>① ALTからのメッセージを見る。                      ② 単元の目標を設定する。                      ③ 本文(Scene1)の概要を捉える。                      ④ 名詞を修飾する句や節の決まりや特徴を簡潔に確認する。</p>	◎	◎	○	○	<p>・ 第2時から第6時の学習の振り返りは適宜行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・ 第2時から第8時では、記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して、観察やリフレクションシートを用いて生徒の活動の状況を確認に見届け、指導に生かす評価は毎時間必ず行う。活動させているだけに不十分な留意する。</p> </div>
	2	<p>■ 教科書本文を読み、考えたことや感じたことを伝え合い、書く。</p> <p>① 本文(Scene1)と文法の復習をする。                      ② 本文(Scene2)の概要を捉える。                      ③ 関係代名詞 who (主格)の決まりや特徴を簡潔に確認する。                      ④ 本文(Scene1, 2)を通して考えたことや感じたことをペアで伝え合い、書く。</p>	○	○	◎	○	
2	3	<p>■ あこがれの人物紹介をこれまで習った表現を用いてペアでやり取りをする。</p> <p>① 文法の復習をする。                      ② 文の構成や発表の仕方を確認する。                      ③ 自分が紹介する人物の名前、年齢、職業、出身等やなぜあこがれているのかについて、英語で表現する練習を行う。さらに、キーワードメモを作成し、ペアで伝え合う。[条件1, 2]                      ④ ペアの相手が言ったことへの感想の言い方や質問の仕方を練習(確認)する。</p>	◎	◎	○	○	
	4	<p>■ 教科書本文を読み、概要を捉える。</p> <p>① 前時に作った自分が紹介する人物のキーワードメモを見て、ペアを変えて伝え合う。[条件1, 2] 本文(Scene2)と文法の復習をする。                      ③ 本文(Read and Think1 p.76)の概要を捉える。                      ④ 関係代名詞 which [that] (主格)を用いた文の決まりや特徴を簡潔に確認する。</p>	○	○	○		
	5	<p>■ 教科書本文を読み、概要を捉える。</p> <p>① 本文(Read and Think1 p76)と文法の復習をする。                      ② 本文(Read and Think1 p77)の概要を捉える。                      ③ 関係代名詞 which [that] (目的格)を用いた文の決まりや特徴を簡潔に確認する。</p>	○	○			
	6	<p>■ 教科書本文を読み、考えたことや感じたことを伝え合い、書く。</p> <p>① 自分が紹介する人物像に近づくために、どういうことをすればよいかについて英語で表現する練習を行</p>		◎	◎		

		う。さらに、キーワードメモを作成し、ペアで伝え合う。[条件3] ② 本文(Read and Think1)と文法の復習をする。 ③ 本文(Read and Think 1, 2))を通して考えたこと感じたことをペアで伝え合い、書く。				
3 本時	7	■ あこがれの人物についての情報をキーワードメモにまとめ、練習する。 ① 本文(Read and Think1, 2)の復習をする。 ② あこがれの人物紹介全体のキーワードメモを作成し、ペアで伝え合う。 ③ あこがれの人物紹介の全体を通しての練習をする。(ビデオ撮影)	○	◎	◎	○
	8	■ ペアでのやり取りを通して、あこがれの人物紹介文を発表するために必要な情報や表現を整理し、よりよいスピーチにする。 ① 本文(Read and Think1, 2)の復習をする。 ② あこがれの人物についてペアで伝え合う。 ③ 情報や自分の考えを整理し、あこがれの人物紹介を再構築する。	○	○	◎	○
	9	■ 単元のまとめをする。 ① あこがれの人物の発表をする。 ② 単元の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">パフォーマンステストを実施し、「記録に残す評価」として、三観点で評価する(詳しくは、「6 評価について」を参照)。</div>				◎
後日		読むことについては、単元テスト、定期考査で評価する。				・ 記録に残す評価を行う

## 5 本時の実際 (8/9)

### (1) 学習目標

- ALT の先生にあこがれの人物を知ってもらうために、ペア活動などを通して、その人についての詳しい情報や自分の考えなどを整理し、あこがれの人物を紹介することができる。(話すこと「発表」)

### (2) 研究の取組

単元のゴールまでの見通しをもたせ、学習内容を具体的に考えさせる場の設定(自律性)

- 単元のゴールまでの学習計画を考える時間と途中における自己調整の場の設定
- 目標達成へ向け、活動の内容や言語材料を選択する場面の設定

### (3) 展開

過程	時間	形態	学習活動	教師の手立て	「自律性」が示す十個の姿

導 入	2分	一斉	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使おうという意欲を喚起させる。</li> </ul>	<b>私は「考える」</b> 学んだ単語や文法を使って自分の言葉で伝えてみよう。	
	8分	ペア	2 単元の復習をする。 (リテリング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードやイラストを基に本文の内容を伝えさせる。</li> </ul>		
展 開	2分	一斉	3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールや自分のゴールを再確認させる。</li> </ul>	<b>私は「計画する」</b> 自分のゴールはダニー先生に、分かりやすく伝えることだった。今日はさらに内容をまとめるぞ！	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">           必要な情報や表現を整理し、スピーチをより良いものに仕上げよう         </div>					
展 開	26分	個別	4 キーワードメモを基に各自で練習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝えることを意識して練習させる。</li> </ul>	<b>私は「質問する」</b> ○○さんが言った言葉が分からないから聞いてみよう。	
		ペア	5 ペアで伝え合ったり、相手が話したことを確認したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わっているかどうか確認しながら伝えさせる。</li> <li>相手が言ったことをお互いに確認させたり、感想を伝えたりさせる。</li> <li>聞き手にはメモをとらせる。</li> </ul>		<b>私は「試す」</b> 相手にうまく伝わっているかな。
						<b>私は「もがく」</b> どうすれば相手に伝わるかな。
	7分	個別	6 キーワードメモに書いた情報や表現を整理して、スピーチの内容を再構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでの練習を通して、どうすればもっとよくなるか考えさせる。(自己調整)</li> </ul>	<b>私は「協力する」</b> ○○さんが言いたいことは、こう言えばいいんじゃないかな。	
					<b>私は「考案する」</b> こんな順番で伝えればいいかな。何か表現を付け加えようかな。	
					<b>私は「発見する」</b> ○○さんの表現は参考になるな。私も使ってみよう。	

終 末	5 分	個	7 学習内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習で学んだことを振り返り、リフレクションシートにまとめさせる。</li> <li>次時の発表に向けて意欲を持たせる。</li> </ul>	<b>私は「解決する」</b> この時間で、前時よりスピーチが分かりやすく伝えられるようになったぞ。
			8 次時の学習を確認する。		<b>私は「振り返る」</b> この部分が分からないな。もっといい表現がないか調べてみよう。
			9 あいさつをする。		<b>私は「計画する」</b> 次の時間はスピーチの発表だ。今日は家で、発表をイメージして、練習しよう。

#### 6 「話すこと〔発表〕」の評価について

第9時に「話すこと〔発表〕」のパフォーマンステスト（以下PT）を行い評価する。本時（第8時）はその練習である。第9時のPTは以下のとおり。

##### (1) 内容

あこがれの人物について、写真などを見せながら人物紹介を行い、あこがれの人物に近づくためにどうすればよいか説明する。※生徒への指示については、次ページを参照。

##### (2) 採点の規準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて、以下の三つの条件を全て満たしていれば「b」とする。

条件1：あこがれの人物についての基本情報を述べている。（名前、年齢、職業、出身など）

条件2：あこがれている理由を述べている。

条件3：あこがれの人物像に近づくために、どういふことをすればよいか述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いて、英語らしい発音で*相手に分かりやすく話すことができる。	三つの条件を全て満たした上で、さらに詳しく紹介している。	三つの条件を全て満たした上で、さらに詳しく紹介しようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で、ほぼ英語らしい発音で*相手に分かりやすく話すことができる。	三つの条件を全て満たして用いて話している。	三つの条件を全て満たして話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

上記\*に関しては、下記①②を満たせば「b」、全て満たせば「a」とする

- ① 相手の目を見て話すことができる。（メモを見るのは2、3回まで）
- ② 相手に聞こえやすい声の大きさで話すことができる。
- ③ 質問をするなど話を振って、相手を引き込む工夫ができる。

話すこと [発表] のパフォーマンステストについて

1 ねらい

ALT のダニー先生のように、あなたにも「あこがれの人物」がいると思います。それは歴史上の人物や身近な人かもしれません。ダニー先生が、みなさんがどんな人物にあこがれているのか、知りたがっています。あなたの「あこがれの人物」をALT のダニー先生に紹介してください。

2 期日

( ) 月 ( ) 日に実施します。

3 内容 ※次の三つのことを全て含めて紹介します。

- ① あこがれの人物についての基本的なこと (名前, 年齢, 職業, 出身など)
- ② あこがれている理由
- ③ あこがれの人物像に近づくために、どういうことをしているか (したいか)

4 テストの流れ

(1) 発表時間は30分です。二人組のペアになって、タブレットに向かって発表し、録画します(後でALT のダニー先生が全員の発表を見ます)。録画する時間を30分取りますので、その間であれば何度か録画しなおしても構いません。一番よかったものを提出してください。

(2) 上の「3 内容」に書いてあることをすべて述べてください。これが一番大事です。できるだけ詳しく述べてください。その他、英語については、語彙や表現の良さ、英語の理解しやすさを見ます。また、発表については次の四つのことを評価します(◎の項目については、全員できるようにしましょう)。

- ◎ 相手の目を見ているようにして話している。(メモを見るのは2, 3回まで)
- ◎ 相手に聞こえやすい声の大きさと話している。
- ◎ ほぼ\*英語らしい発音で話している。
- 質問をするなど話を振って、相手を引き込む工夫をしている。

\*英語らしい発音とは、母音が入った日本語的な発音でないものです。

例えば、アイ ラクウ などは英語らしい発音とは言えません。

(3) 発表のモデル文 (参考にできるところはそのまま使用しても構いません)

*Hello, Dani.*

*I'm going to talk about the person I respect. Do you know who she is?*

*That is ①my grandmother who was born in Akune. She died 5 years ago, but I respect her very much. She was a super woman ②because she was a very hard worker.*

*Her job was to sell fish. She always got up at four and worked hard all day. But she also did housework well. It's hard for me to do housework like her. Even if she was very busy, she never made complaints.*

*She always said, "Work hard, and it will bring you good luck." She is my role model. So, ③I'd like to work hard like her. Thank you.*

※①②③は「3 内容」をどう述べているかを表しています。

(生徒配布資料)